

札幌商工会議所 サービス部会

令和8年度 事業計画

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

AI × サービス産業

- ① AIリテラシーの向上
- ② AI活用による経営力向上
- ③ AIを活用した新たなサービス価値の創出



(1) 国・北海道への要望提出

当部会からの要望事項を取り纏め、全道商工会議所大会（令和8年7月 稚内市）を通じて、国・道への要望提出を行う。

(2) 関係機関への要望活動及び意見交換

業界の課題解決や中小企業の振興策などについて、部会における要望事項を取り纏め、必要に応じて、所管官庁・自治体と業界振興策等について意見交換を行う。

【意見聴取】

対 象：正副部会長・正副分科会長・議員・部会常任委員 等

期 間：令和8年2月18日（水）～3月6日（金）

(1) 警備業界振興事業



人材確保や人材の定着率向上を目的に業界PRをはじめ、従業員のモチベーションや業界のイメージ向上につながる活動を行う。

概要	<p>要</p> <ul style="list-style-type: none">・ サービス部会の警備・ビルメンテナンス分科会の事業として、(一社)北海道警備業協会と協力し一般市民に警備業に関わるPRを行う。例) ・ 警備業界におけるAI活用や先端技術の視点を取り入れたPR・ 人材不足においてAI・デジタル技術が与える影響
----	---



(2) さっぽろサムライ倶楽部の運営



現在の登録者数169名

① 異業士交流会

会員非会員問わず、士業10種類のいずれかの資格を取得していれば、誰でも参加できる士業交流会。年に2回ほど開催し、当事業の新規登録者の獲得に繋げると共に士業同士の連携も強化する。



② 士業PR事業

新規事業

一般市民向けの無料相談会を北海道中小企業診断士協会や、北海道社会保険労務士会等の各団体と協力して実施する。



(2) さっぽろサムライ倶楽部の運営



③サムライ出張セミナー

当所会員企業先着10社限定で、登録している士業を派遣し企業が希望する内容のセミナーを実施する。

実施例：「パワーハラスメント防止研修」、「労務管理研修」等



④士業ナレッジ発信

新規事業

外部出版事業者等と連携し、士業の専門性や役割に対する理解促進を図るための、広範囲な情報発信を行う。

その他にも…

『さっぽろ経済』でサムライの紹介、
当所会員企業や一般市民からの相談に対するマッチング、士業と会員企業の交流会等



(3) 業界団体との連携 新規事業

内容

当部会内のクリーニング協同組合、理容協同組合、美容協同組合等をはじめとする業界団体と協力し、業界PRを行う。
例) クリーニングの日(9/29)に市民向けイベントを開催

(4) 一般市民向けイベントへの参画

さっぽろ八月祭

概要

さっぽろ八月祭の「企業協賛ブース」内のプログラムの一つに参画し、業界PRに繋げる。

目的

- ①主にBtoCをビジネスモデルとした企業に協力してもらうことで、市民への認知度向上と業界PRを図る。
- ②参加企業を増やすことで、参加企業間でのネットワーク構築や新たなビジネスチャンス創出へ繋げる。



(1) 士業×異業種交流会の開催

内容	創業して間もない経営者や、士業との繋がりを求めている企業と、新規取引先の開拓を希望する士業との出会いの場として、テーマや業種を絞った交流会の開催をする。 例) AI活用事例セミナー
----	---

KPI【セミナーを踏まえ、次のアクションへ移行する企業の割合：50%以上】



(2) 部会間の意見交換会の開催

新規事業

内容	10部会の中で会員数が最も多く、多種多様な業種が所属しているという特色を活かして、さっぽろサムライ倶楽部の専門家を招き、各分野で直面している課題・問題について部会内の会員企業と一緒に考え、交流する場を提供する。 例) ・AIを活用した成功事例・導入事例の共有 ・他部会との共通課題を議論
----	---

KPI【AI取組開始企業数：8件以上】



(3) 士業×学生との交流会

内 容

士業の資格取得を目指す学生を対象に、士業の具体的な業務内容や、試験勉強の方法、合格後のキャリアプラン（独立、事務所勤務、企業内士業など）を学び、経験談ややりがいを聞くことで、学習や将来への意欲を高めるための士業との交流会を開催する。

- 例)
- ・ AI時代における士業の役割
 - ・ 士業とAIの将来像

令和7年度参考) 税理士×CA税務会計学科生との懇談会。

KPI【交流会を踏まえ、学生へのPR機会創出に至った企業の割合：70%】



(1) 諸会議（正副部会長会議、部会連携会議 等）

正副部会長および正副分科会長等による会議を適宜開催し、事業計画の策定や要望事項の取りまとめなど、部会運営に関する事項について協議する。
また、部会間や委員会との意見交換の機会を設け、業界課題の共有と業界振興を図る。

(2) 業界課題・要望等の調査

業界の課題や要望を把握するために、議員・部会常任委員へのアンケート調査等を行う。

(3) 部会親睦・交流

業界課題の共有と解決、技術の連携および業界内での親睦を図るために、所属部会間のみならず、他部会・分科会を含めた交流・意見交換を実施する。

(4) 情報提供（部会ニュースの発信 等）

(5) 人材確保・育成支援

企業の人材確保や人材育成、活躍を支援するために、人手不足の課題を抱える中小企業に対して、女性、高齢者、外国人材、障がい者等、多様な人材の採用に向けた情報提供・情報交換の場を提供する。

(6) DX(デジタルトランスフォーメーション)の促進

業務効率化や生産性の向上を図るために、セミナー等による情報提供や専門家を通じた個社支援を行い、中小企業のデジタル化・DXを推進する。

(7) 会員新春交歓会の実施